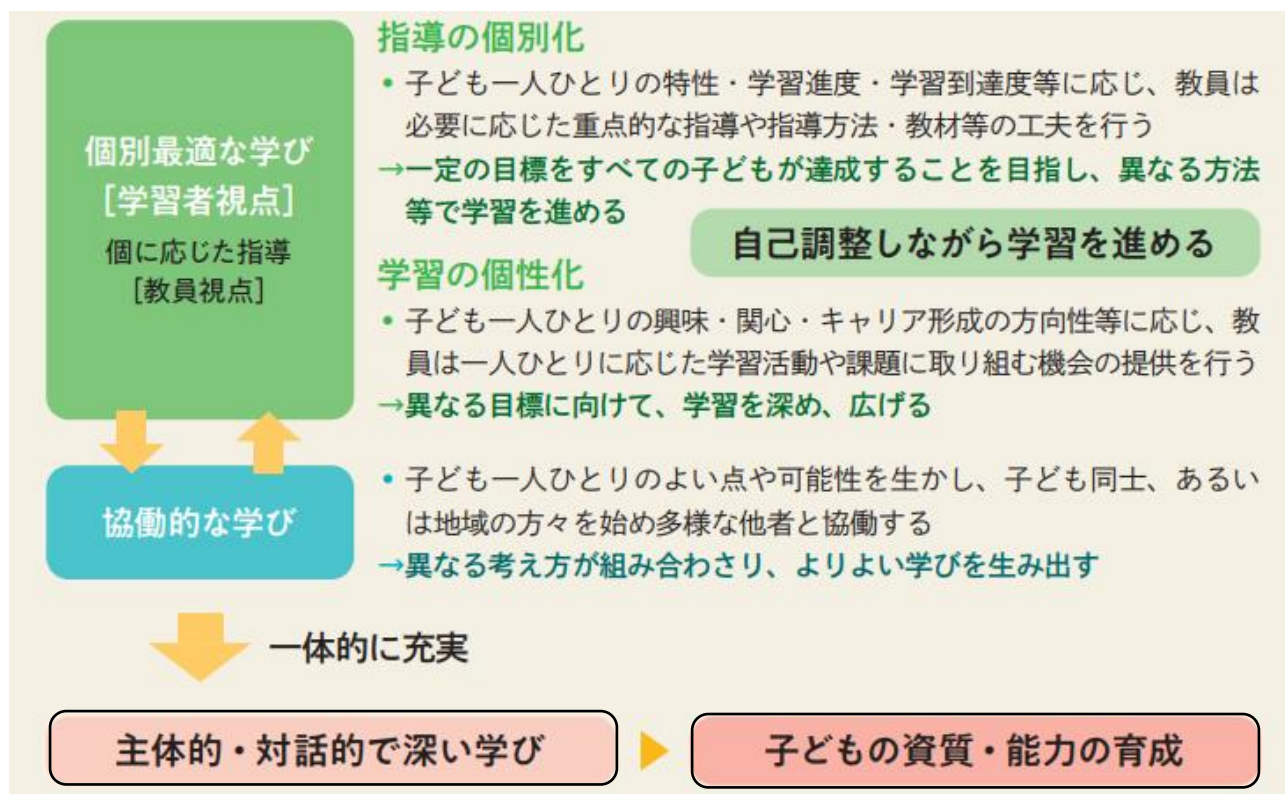


個別最適な学びと協働的な学び

## 学習を、「授業者」（教師）の視点から「学習者」（子供）の視点で捉え直した概念



### 本校の授業でいえば・・・

通常学級や自覚障がい学級は、同じ目標に向かって学習を進めていきますが、支援を要する児童には適切に **指導の個別化** を図りながら、授業を進めていきます。

また、ペアや対話等の活動を通して **協働的な学び** ができるのではないのでしょうか。

併せて、自分の調べたい学習に各自取り組む **学習の個性化** も実態次第では可能です。

知的障がい学級では、すでに個々の目指すものが違うので、一人一人に違ったゴールが設定されることが多く、**学習の個性化** を図ることが大切になってきます。

### 宿題や自主学習でいえば・・・

理想は、実態や個々の意欲、興味・関心に応じた **学習の個性化** がベストだと思います。それを実現するためには本校にはあと少しICT機器（タブレット）の活用を宿題に取り入れる工夫をする必要があります。

宿題は、同様の内容になっても量の調整は担任の声かけで可能だと思います。児童一人一人の実態に応じて、適切な支援をしてください。

自主学習については **学習の個性化** が可能な内容です。

私たちの意識も、個々の実態を大切にし、学びの状況を適切に見取り、子ども主体で誰一人学びのこしのない学習活動にしていきたいと思います。

2020年代を通じて実現を目指す学校教育  
「令和の日本型学校教育」の姿

＼全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／



子供の学び

- ✓ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- ✓ 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

#個別最適な学び #協働的な学び  
#主体的・対話的で深い学び #ICTの活用



教職員の姿

- ✓ 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- ✓ 子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- ✓ 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

#教師の資質・能力の向上 #多様な人材の確保 #家庭や地域社会との連携  
#学校における働き方改革 #教職の魅力発信 #教職志望者の増加



子供の学びや  
教職員を支える環境

- ✓ ICT環境の整備により全国の学校で指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- ✓ 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- ✓ 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

#ICT環境の整備 #学校施設の整備  
#少人数によるきめ細かな指導体制

「子供の学び」の姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



個別最適な学び  
協働的な学び

一体的に充実



主体的・対話的で  
深い学び

授業外の学習改善

授業改善

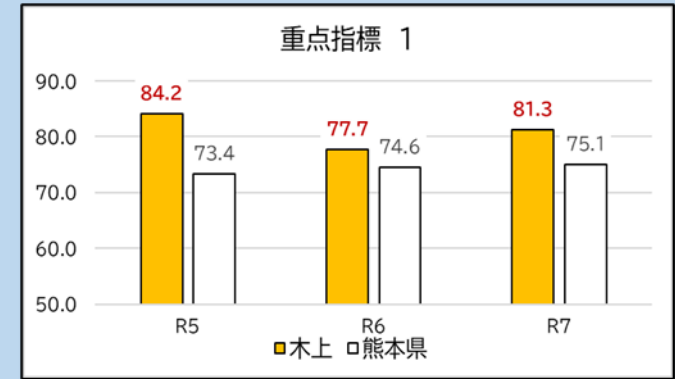
＼子供の資質・能力の育成／

義務教育

- 基礎的・基本的な知識・技能や学習の基盤となる資質・能力等の確実な育成が行われるとともに、多様な一人一人の興味・関心等に応じた学びが提供されている
- 児童生徒同士の学び合いや探究的な学びなどを通じ、地域の構成員や主権者としての意識が育まれている
- 全ての児童生徒が安全・安心に学ぶことができる

重点指標1

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか。



児童の活動:教師の指示・発問等 = 7:3

先生が話し過ぎると子どもは「聞けばいい」と思ってしまいます。逆に、少し考える問いかけをすると、子どもは自然と頭を動かし始めます。

課題提示のコツは、「子どもが“自分事”として受け取れる問いにすること」です。子ども自身が“考えざるを得ない状況”をつくると、自然と主体性が生まれます。



令和9年3月末の

目標値 85.0